

# 希望を語る

2000 年 8 月発足

21 年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局：健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

[www.kenkou-zoushin.com](http://www.kenkou-zoushin.com) [info@kenkou-zoushin.com](mailto:info@kenkou-zoushin.com)

## 癌を超早期発見し、超早期に治す時代が来た！

院長 水上 治



拙著が発売されました。癌に関しては 10 冊目になります。この本は、癌医療において前例のない、ある意味で革命的な本と自認しています。

従来の癌検診の限界として、癌の大きさが 1cm 程度、癌細胞数は 10 億個程度にならないと見つけれませんが、「循環腫瘍細胞検査 (CTC)」なら、1~1.5mm 程度、癌細胞数で 100 万個くらいでの超早期発見が可能です。CTC は例えば 3.7 個/ml というように血液中の癌細胞の個数で表現されますから、腫瘍マーカー同様治療によって下がっていくか上がっていくか、経過を追うにも有用です。

しかし、この方法が最先端過ぎて、厚労省の認める健康保険医療にはなっていないので、医師はこの検査法をあまり知りません。1mm 程度なら、血液の腫瘍マーカー、CT、MRI、PET-CT、超音波検査、内視鏡などでは絶対見つかりませんので、治療のしようがありません。しかし、天然の抗癌剤である超高濃度ビタミン C 点滴療法なら超早期癌でも可能です。

癌の患者さんには、腫瘍マーカー検査より鋭敏なので、経過を追うのに役立ちますし、もともと腫瘍マーカーに出ないタイプの人には是非ともお勧めです。また、ご家族や友人の癌早期発見に有用です。

この検査法は血液中の癌細胞を拾う極めて難度の高い技術が必要ですが、私はもう 10 年ほど、信頼するギリシアの RGCC 社に依頼しています。経験上きわめて癌臨床に役に立ちますので、ご検討ください。

この本の後半は、超高濃度ビタミン C 点滴療法の最新情報が満載ですので、是非お読みいただければ幸いです。当院の 6 名の癌患者さんの興味深いインタビューも載っています。



もみじ（昭和記念公園） M.I

# 五行歌

小林美智代さま

晩秋の陽ざしの中  
かまきりが動かない  
私も動かない  
弱っている姿が  
自分に重なる  
紅葉を楽しんだ後  
落ち葉のそうじ  
木々の一年  
いのちを考え  
教えられる

## みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま

この作品は 2016 年に書いていただいたものです。



佐藤様は H7 年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24 年より当院にて鍼治療を開始しました。加藤医師の勧めで始めた絵手紙。もともとは右利きですが、左の麻痺を克服するために、左手で書いています。

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りたい事、その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら是非、事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております。

# 十日ん夜・亥の子祭り・泣き虫小僧

浅野伸一さま

- 一、とお〜かんや、とお〜かんや、いのこ（亥の子）のぼたもち、おいわい（祝い）ね〜。とお〜かんや、とお〜かんや、だいこ（大根）がほきろ（育て）、菜（白菜）がほきろ（育て）

冬に入り、季節風とともに空気が乾燥して、夜空にすっぽりと星が煌々と冴え渡る、旧暦 10 月の「十日ん夜」。それと並んで同じ旧暦の最初の亥の日が「亥の子祭り」。藁を縄でぎりぎり固く束ねて、藁鉄砲を作って、地域の農家をこの歌を歌いながら回り、庭先の地面に叩きつける。そして亥の子ぼた餅・みかん・お小遣いをいただく時の嬉しさ。

- 二、お〜さむ（大寒）こさむ（小寒）山からこそ〜（小僧）がなくてきた。さ〜むいといっていなくてきた。さむ〜けりゃ〜あ〜たれ（温まれ）あ〜たればあ〜つい（熱い）あ〜つけ〜りゃ〜さがれ（冷ませ）

やぶさめ  
流鏑馬祭りも過ぎて、日光の男体山や群馬の赤城山から「上州のからっ風」が吹き始める旧暦 10 月の初めての亥の日に「炬燵」を出すと、その年は火事にならないとの言い伝えがあります。このころ、山から「泣き虫小僧」が下りて来ます。この歌を歌いながら、囲炉裏や炬燵で「暖」を取るのです。

藁鉄砲で地面を叩く仕草は「もぐら」を追い出すもの、泣き虫小僧は「山の神様の遣い」と言われています。戦前の科学や物理が、まだ未発展の頃、こんな自然を利用した日頃の生活ぶりには心の豊かさがありました。



「ハイ男前あげる！」とお隣のお婆ちゃまが一本の植物を持って来てくださった。それは男前と言うより、どちらかと言うと美人さん。なんとも可愛い、薄紅色の大きな実がついたものだった。本名は「サネカズラ」というものらしい。別名が「美男カズラ」。昔、男の人がサネカズラのつるの皮を剥いで、その樹液をボサボサの髪の毛につけ、整えたところからその名がついたそうだ。普段、茂った葉に埋もれていて、勿体ないかなこんなに素敵な実がなってもなかなか人目につかないらしい。本当の男前というのは植物でも人間でも良く見ないと見つからないものなのかも知れない。

サネカズラの花言葉：「再会」「また逢いましょう」「好機をつかむ」



# クリスマス音楽会



—古楽器による名手たちのクリスマス会—

## バロックアンサンブル

バッハ作曲 G線上のアリア

ルクレール作曲 音楽の気晴らし 他

12/7 (火) 11:30~12:30

点滴フロアにて 参加費無料 予約制

参加ご希望の方は、受付またはスタッフにお声かけください



## クリニックより診療についてのご案内

### ★日曜診療について

2022年から月2回、午前半日に院長診察が入ります

平日と同じ治療も受けられます 1/16・1/30

### ★水曜日のご案内

加藤医師の当院診察が12/22で終了いたします

年末までの水曜日の診療時間短縮のお知らせ

治療時間 9:00~13:30

診察時間 10:00~13:00 (担当:加藤医師)

電話受付 8:45~13:00

※12/29は、通常通り、点滴などの診療はいたします

2022年から水曜日は全日休診日となります

### ★年末年始の診療について

12/29 (水) 午前診療

12/30 (木) ~1/3 (月) 休診

1/4 (火) 通常診療

引き続き除菌作業を行いながら診療させていただきます  
患者さまにも、マスク着用と手指の消毒のご協力をお願いいたします  
ご不便をおかけいたしますがどうぞよろしくお願いいたします

### 加藤医師「こもれびの診療所」連絡先

TEL 03 (6806) 5457 FAX 03 (6806) 5758

[info@komorebi-shinryojo.com](mailto:info@komorebi-shinryojo.com)

